

はまごろう小だより

～当たり前前のごとを 当たり前前にできる子に～

伊勢市立浜郷小学校

校長 上地明宏

平成29年12月11日(月)

第33号

人権集会「ぼくも、あそびたいな！」

12月9日(土)は土曜授業。2時間、体育館で人権集会を行いました。

昨年度から浜郷小では、人権集会の場で身近な問題を取り上げ、全校で考える機会を設けてきました。今年度も、児童会を中心とした寸劇をもとに考えました。シナリオは次の通りです。

「ぼくも、あそびたいな」

ある日の放課後、Aさんが帰ろうとしたときのことでした。うしろにいたBさんたちの方から、こんな声が聞こえてきました。

C「Bさん、今日、あそびに行くわな。」

B「いいよ。4時にまっとるよ。」

D「わたしも、行っていい？」

B「もちろん、楽しみにしとるよ。」

それを聞いたAさんは、Bさんたちの方へ、かけよりました。

A「なあ、ぼくもあそびに行っていく？」

C「え～。だめやよ。無理、無理。」

D「Bさん、無理やよなあ。」

B「そうそう、人数が多くなるから、無理やわ。」

A「……ぼくも、あそびたかったなあ。」

Aさんは、そうつぶやくと、Bさんたちから、はなれていきました



コーディネーターは、阿保谷先生と山本先生です。

まず、「遊ぶことに入れてもらえなかったAさんは、どんな気持ちだったでしょう？」とみんなに問いかけます。低学年からたくさん手が挙がります。係の子どもがマイクを向けると、「いやな気持ち」「かなしい」という言葉が返ってきます。

「どうしたら、Aさんがいやな気持ちにならなかったでしょう？」

という問いには、「ごめんね」「また遊ぼうね」と言えばいい、「無理、無理」という言い方はきつという意見がありました。

最後に、「Aさんが、この日みんなといっしょに遊ぶにはどうしたらよかったですか？」の問いかけには、「もう一回入れてと言えればいいのに」という意見がいくつかありました。それが言えないからこそその人権集会なのですが、コーディネーターは、そんな意見もしっかりと認めていきます。

ところが、1年生から「みんなで遊べるものに遊びを変えればいい」という意見が出てきたので、わたしは感心しました。1年生すごいです。

Aさんと同じように、かなしい思いをする子どもがどの学級にもいることでしょう。コーディネーターは、今度はそんな思いを各学級で出し合えるといいですね、と投げ返していきました。

無理に話をまとめず、問題提起するところに人権集会の値打ちがあります。今後の各学級の取組に期待したいです。



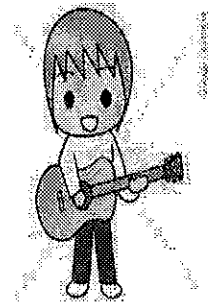
ライブスペースに浜郷小が出演！ ギターの腕前を披露

9月17日に予定していたライブスペースが台風21号のために延期。

文化祭や研究発表会も終わり、ようやく一息ついたので、ミニコンサート「ライブスペース」に再挑戦します。

○日時：12月17日（日）16時より

○場所：村井楽器店2Fホール（バイパス沿い）



浜郷小からは、奥村 碧さん、寺田桃子さん（4B）、植村瑞紀さん（6B）のギターに加えて、阿保谷先生がボーカルで参加します。

曲目は、「ひこうきぐも」「赤いやねの家」「世界に一つだけの花」です。

入場無料、肩のこらない気軽な音楽会です。お時間の許す方は、どうぞお出かけください。

山商の英語クラブが4年生を訪問！

12月8日（金）山商のESS（英会話クラブ）の部員12名が、浜郷小にやってきました。4年生が親しみやすいように、絵やクイズを使って、すべて英語で活動を行いました。A組もB組も、フレッシュな高校生のお姉さんに導かれて

楽しいひとときを過ごしました。

うれしかったのは、浜郷小の卒業生がいたこと。（写真左）吉川萌香さん（一色町）と世古明日香さん（黒瀬町）です。

こんなにすてきな娘さんになって戻ってきてくれました。



通町の芸能文化祭に子どもたちが参加！

11月23日（木）は通町の芸能文化祭でした。

1階では、伊勢型紙から絵画、書道にいたるまですばらしい作品が並び、2階では子ども木遣、詩吟、落語などの楽しい芸能が披露されました。浜郷小の子どもたちが活躍すると聞いて、わたしも午後から参加しました。

子どもたちの凛々しい姿がとてもすてきでした



<子ども木遣>

石井奏汰（4B）石井羽奏（1B）酌井柚花（4A）
立井快音（2B）立井柑那（1A）出口桃花（4B）
出口綾菜（2B）中川新太（3B）成川侑希（1A）
堀 祥大（1B）中川なつ、成川佳汰、堀 啓太

<詩舞>

「紙飛行機」

見並蒼空（2A）
見並詩花（2才）